

平成24年9月19日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 3件
(うち密閉式(BF式)ガス給湯付ふろがま(LPガス用)1件、
開放式ガス瞬間湯沸器(LPガス用)1件、ガスこんろ(LPガス用)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 10件
(うち電気こんろ1件、電気カーペット1件、加温式フットバス1件、
デジタル電話装置1件、照明器具(水銀灯)1件、
電気ストーブ(ハロゲンヒーター)1件、無停電電源装置1件、
食器洗い乾燥機1件、エアコン1件、エアコン(室外機)1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 7件
(うちビデオデッキ1件、かさたて1件、電動車いす(ハンドル形)1件、
電動丸ノコ1件、携帯電話機(タブレット型)1件、延長コード1件、
扇風機1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報検討会及び第三者委員会合同会議(※)において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

(管理番号A201000426、A201000903、A201100098、A201100259、A201100298及びA201101144を除く。)

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 象印マホービン株式会社が製造した食器洗い乾燥機について(管理番号A201200432)

① 事象について

象印マホービン株式会社が製造した食器洗い乾燥機のスイッチを入れて外出し、家人が戻ったところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

② 当該製品のリコールについて

同社は、対象機種(下記③)について、内部部品の組付けの不具合により、発煙・出火に至るおそれがあることから、平成15年7月10日にホームページへ情報を掲載するとともに、複数回にわたり新聞社告を掲載し、対象製品について無償で点検・修理を実施しています。

③ 対象製品等：型式、製造期間、改修対象台数

型式	製造期間	改修対象台数
BW-E35	平成10年1月～平成12年5月	19,400台

改修率 52.9% (平成24年8月20日現在)

対象製品の外観及び確認方法：



該当機種は製品前面パネルのZOJIRUSHIの下にBW-E35と表示されています。

④ 消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・修理を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(象印マホービン株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-507-450 (携帯電話、PHSも可)

受付時間：9時～17時(土・日・祝日を除く。)

ホームページ：http://www.zojirushi.co.jp/toiwase/bwe_kinkoku.html

(2) 東芝キヤリア株式会社が製造したエアコンについて（管理番号A201200435）

①事象について

東芝キヤリア株式会社が製造したエアコンを使用中、異音とともに当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品のファンモーターのリード線接続部分に、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が付着・侵入し、さらに当該製品内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこんだことによって、トラッキング現象が生じ、発煙・出火に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、平成16年8月19日にホームページに情報を掲載し、翌8月20日に新聞社告を掲載するとともに、新聞折り込みチラシ、交通広告（電車内）、全国自治体の広報誌への情報掲載等を通じて注意喚起を行い、対象製品について無償点検・改修（シリコンを充填したコネクタカバーを被せる又はファンモーターの交換）を実施しています。

③対象製品等：機種・型式名、製造期間、改修対象台数

機種・型式名	製造期間	改修対象台数
RAS- 225LDR、255LDR、285LDR、 325LDR、406LDR、506LDR、 255LDR-D、285LDR-D、 406LDR-D、255LDR-G、 285LDR-G、2559SDR、 2859SDR、4069SDR、V285DR	1998年9月～2000年6月 (RAS-×××LDRシリーズ)	218,626台
RAS- 225YDR、255YDR、285YDR、 325YDR、405YDR、406YDR、 506YDR、255YDR-D、 285YDR-D、406YDR-D、 V285DR3、2833D-I	1999年9月～2001年3月 (RAS-×××YDRシリーズ)	287,560台
HAS- M221FDR1、M281FDR1 RAK- 285DR3、405DR3 RAG- 283KE、323KE、403KEJ SIK- J500AX、J630AX、P500HX、 P630HX (東京ガス(株)ブランド) TS- B2842U-S(GY)、B3242U-S(GY)、 B4052U-S (大阪ガス(株)ブランド) 144-0014、144-0015、144-0016、 144-0017、144-0019 (東邦ガス(株)ブランド) THCI-4932RC	1999年11月～2002年1月	20,259台
合 計		526,445台

改修率

75.0%（平成24年8月31日現在）

(東芝キャリア株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-444-899

FAX番号：0120-445-175

受付時間：9時～18時（土・日・祝日を除く。）

ホームページ：

<http://www.toshiba-carrier.co.jp/info/article/article-02.htm>

(3) ダイキン工業株式会社が製造したエアコン（室外機）について
（管理番号A201200440）

①事故事象について

ダイキン工業株式会社が製造したエアコン（室外機）を使用中、異音がしたため確認すると、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生していました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコールについて

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、プリント基板のダイオードブリッジのはんだ接続部で、はんだ量が少なく、プリント基板と電装品箱の熱伸縮の差により、はんだ接続部に繰り返し応力がかかり、はんだクラックが発生し、発煙・出火に至る可能性があることから、平成16年10月18日にホームページに情報を掲載し、翌10月19日に新聞社告を行うとともに、継続的に新聞折込チラシやダイレクトメールの送付を行い、無償点検・改修の呼び掛けを行っています。

③対象製品等：対象機種、対象製造番号、製造期間、改修対象台数

対象機種	対象製造番号	製造期間	改修対象台数
AR2205X	4000101～4003200 5000101～5007200	1995年1月 ～ 1998年3月	9,950台
AR228HDX	7000101～7008447		7,271台
AR〇〇*6*～*	5000101～70*****		81,475台
AR〇〇*7*～*	6000101～70*****		108,733台
AR〇〇*8*～*	7000101～70*****		15,214台
RA225G*～*	4000101～70*****		8,163台
RA△△6*～*	5000101～70*****		107,914台
RA〇〇7*～*	6000101～70*****		192,389台
RA〇〇8*～*	7000101～70*****		55,864台
RAJ〇〇8*～*	7000101～70*****		3,429台
RAZ225*～*	4000101～70*****		21,007台
RAZ△△6*～*	5000101～70*****		30,672台
合 計			642,081台

備考1. 対象機種の定格冷房能力は、2.2kW～3.2kW

備考2. 海外販売製品には、対象機種はありません。

注1. ○○は、22、25、28、32のいずれかの数字

注2. △△は、22、25、28のいずれかの数字

注3. *印は、数字又はアルファベット

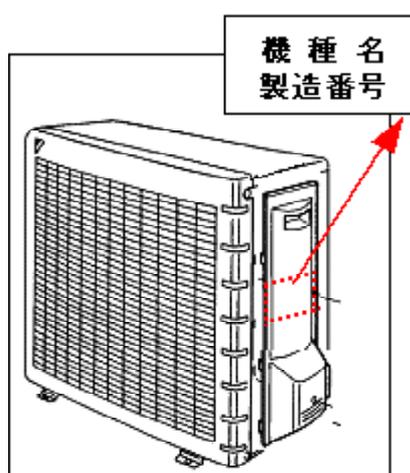
改修率

51.3% (平成24年8月31日現在)

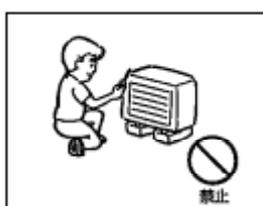
当該製品の外観：



対象製品の確認方法：



(注) お客様自身で、工具を用いての製品の分解等は、危険ですので決してなさないようにお願いいたします。



(参考)

リモコン (型番から対象製品を確認できる場合もあります)

リモコン型番	○に入る数字		製造期間
	対策が必要	調査が必要	
ARC408A○	10、13、20、30	14、15、24、25、28、29	1995年1月 ～ 1998年3月
ARC409A○	6、11	1、8、15、17、21	
ARC411A○	4、6、9	1、2、3、8	
ARC418A○	なし	1、2	
ARC402A○	なし	6	

備考1. 型番は、リモコン裏面に記載しています。

備考2. 「対策が必要」の項目に該当するリモコン型番の機種では、対策が必要となります。

備考3. 「調査が必要」の項目に該当するリモコン型番の機種では、対策が必要な場合がありますので、調査をさせていただきます。

対象製品の確認方法：



注 写真のリモコンは、ARC408A10のリモコンで型番によって形状は異なります。

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(ダイキン工業株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-330-696

受付時間：24時間受付

ホームページ：http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2004/041019_r/index.html

(本発表資料の問合せ先)

消費者庁消費者安全課

(製品事故情報担当) 担 当 : 大木、長井、川^{かわ}船

電 話 : 03-3507-9204 (直通)

F A X : 03-3507-9290

(象印マホービン株式会社が製造した食器洗い乾燥機についての発表資料に関する問合せ先)

(東芝キャリアが製造したエアコンについての発表資料に関する問合せ先)

(ダイキン工業株式会社が製造したエアコン(室外機)についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当 : 宮下、古田、長沼 電 話 : 03-3501-1707 (直通)

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200429	平成24年8月31日	平成24年9月13日	密閉式(BF式)ガス給湯付ふろがま(LPガス用)	TP-DPS40	高木産業株式会社 (現 パーパス株式会社)	火災	当該製品でシャワーの点火操作をしたところ、異音とともに当該製品及び周辺を破損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	山形県	
A201200433	平成24年9月7日	平成24年9月13日	開放式ガス瞬間湯沸器(LPガス用)	RUS-53FT	リンナイ株式会社	火災	当該製品の周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	福井県	
A201200439	平成24年9月3日	平成24年9月14日	ガスこんろ(LPガス用)	IC-E680F-R	パロマ工業株式会社 (現 株式会社パロマ)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の火を消し忘れた可能性を含め、現在、原因を調査中。	千葉県	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201000426	平成22年8月15日	平成22年8月20日	電気こんろ	SPH-231S	三化工業株式会社	火災	当該製品及び当該製品の上に置いていたダンボールを焼損する火災が発生した。事故原因は、調査の結果、当該製品のつまみに物や身体が当たるなどしてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物(ダンボール)が発火したものと考えられる。また、当該製品のつまみがつまみカバーから凸状に出ている構造であったことも影響していると考えられる。なお、本体表示にはヒーターの上や周辺に可燃物を置かない、火災のおそれあり等、注意表示されている。	東京都	平成22年8月24日にガス機器・石油以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201000903	平成23年1月23日	平成23年1月31日	電気カーペット	YZP-207GA	ワタナベ工業株式会社	火災	当該製品の上にカバーを敷き、毛布及び布団を掛けて就寝中、発煙及び出火に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故原因は、調査の結果、長期使用(約11年)により、当該製品の検知線が複数箇所で断線していたため、異常発熱時に検知線と発熱線が短絡していたにも関わらず温度ヒューズが切れずにそのまま過熱されていたことから、発煙・出火に至ったものと考えられる。なお、被害者が事故発生の前から当該製品の半面が暖まらない状況で継続使用していたことも影響していると考えられる。	長崎県	平成23年2月4日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201100098	平成22年12月14日	平成23年5月2日	加温式フットバス	5F-3559	株式会社ジョイナス (輸入事業者)	重傷1名	当該製品を使用中、足に火傷を負った。 事故原因は、調査の結果、当該製品の製造時にサーモスタットが正常に取り付けられていなかったため、水温がサーモスタットに正確に伝わらず、設計温度以上まで水温が上昇したことにより、事故に至ったものと考えられる。	神奈川県	平成23年5月10日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201100259	平成23年6月29日	平成23年7月11日	デジタル電話装置	MU-D512-B	沖電気工業株式会社	火災	火災報知器が鳴動したため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 調査の結果、当該製品内部の電源入力部付近から出火に至ったものと考えられるが、電源入力部付近の焼損が著しいことから、出火の原因の特定には至らなかった。	大阪府	平成23年7月15日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201100298	平成23年6月29日	平成23年7月25日	照明器具(水銀灯)	YA82321	パナソニック電気株式会社(現 パナソニック株式会社)	火災	庭に設置していた当該製品を焼損する火災が発生した。 事故原因は、調査の結果、当該製品の長期使用(約37年)により、製品内部の安定器が絶縁劣化したため内部巻線にレイヤーショートが生じ、ランプに過電流が流れたことでランプが破損し、破損したガラス破片により外郭が熔融して、焼損に至ったものと考えられる。	神奈川県	平成23年7月29日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201101144	平成24年3月1日	平成24年3月23日	電気ストーブ(ハロゲンヒーター)	CLV-044	株式会社セラヴィ (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 事故原因は、調査の結果、当該製品の電源コードと内部リード線との間を接続している閉端接続子のカシメ不良により、接触不良が生じて異常発熱して周辺の樹脂に接触し、出火に至ったものと考えられる。	岡山県	3月27日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201200431	平成24年8月16日	平成24年9月13日	無停電電源装置	YUMIC-SD10	株式会社GSユアサ (輸入事業者)	火災	火災報知器が鳴動したため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	兵庫県	事業者が事故を認識したのは、9月5日

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200432	平成24年9月7日	平成24年9月13日	食器洗い乾燥機	BW-E35	象印マホービン株式会社	火災	当該製品のスイッチを入れて外出し、家人が戻ったところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	鹿児島県	平成15年7月10日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 52.9%
A201200435	平成24年9月8日	平成24年9月13日	エアコン	RAS-506LDR	東芝キャリア株式会社	火災	当該製品を使用中、異音とともに当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品のファンモーターのリード線接続部分に、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が付着・侵入し、さらに当該製品内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこんだことよって、トラッキング現象が生じ、発煙・出火に至ったものと考えられる。	高知県	製造から10年以上経過した製品 平成16年8月20日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 75.0%
A201200440	平成24年9月7日	平成24年9月14日	エアコン(室外機)	AR2506DX	ダイキン工業株式会社	火災	当該製品を使用中、異音が生じたため確認すると、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	東京都	製造から10年以上経過した製品 平成16年10月18日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 51.3%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200428	平成24年9月3日	平成24年9月13日	ビデオデッキ	火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201200430	平成24年9月5日	平成24年9月13日	かさたて	重傷1名	掃除をするため当該製品を持ち上げたところ、当該製品が破損し、負傷した。現在、原因を調査中。	兵庫県	
A201200434	平成24年6月4日	平成24年9月13日	電動車いす(ハンドル形)	死亡1名	使用者(80歳代)が下り坂曲がり角の斜面と当該製品に挟まれた状態で発見され、病院で死亡が確認された。死因は病死であるが、当該製品との因果関係を含め、現在、原因を調査中。	静岡県	事業者が事故を認識したのは、8月22日
A201200436	平成24年8月5日	平成24年9月13日	電動丸ノコ	重傷1名	当該製品を使用中、右手首を負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	山梨県	事業者が事故を認識したのは、9月4日
A201200437	平成24年8月28日	平成24年9月13日	携帯電話機(タブレット型)	火災	自動車を全焼する火災が発生し、車内に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	香川県	
A201200438	平成24年8月18日	平成24年9月14日	延長コード	火災	当該製品に複数の電気製品を接続していたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	福岡県	事業者が事故を認識したのは、9月7日
A201200441	平成24年7月20日	平成24年9月14日	扇風機	火災	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	富山県	9月11日に公表したエアコンに関する事故(A201200412)と同一製造から25年以上経過した製品 事業者が事故を認識したのは、9月5日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報検討会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

電気こんろ（管理番号：A201000426）



加温式フットバス（管理番号：A201100098）



デジタル電話装置（管理番号：A201100259）



電気ストーブ（ハロゲンヒーター）（管理番号：A201101144）

